

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。
 これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。
 注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

令和5年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 内容監修者一覧

■内容監修者

担当地域略称	推薦者名	現職	居住地	連絡先	日本語対応	専門分野	詳細分野（自由記載）	学歴	人物紹介	実績
1	デービッド アトキンソン (わかりやすい多言語解説 整備推進委員を兼任)	株式会社 小西美術工藝 社 代表取締役社長 日本政府観光局 (JNTO) 特別顧問	東京都		○	文化財	日本学専攻	オックスフォード大学日本学科 卒業	1965年イギリス生まれ。オックスフォード大学「日本学」専攻。裏千家茶名「宗真」 拝受。1992年ゴールドマン・サックス証券入社。金融調査室長として日本の不良債 権の実態を暴くレポートを発表し、注目を集める。2006年に共同出資者となるが、マ ネーゲームを遂行するに至り2007年に退社。 2009年創立300年余りの国宝・重要文化財の補修を手掛ける小西美術工藝社に 入社、2011年同社社長に就任。2014年より現職。文化財の修復を専門 とする小西美術工藝社の社長として、数々の文化財の修復を実施。 2017年から日本政府観光局特別顧問などを務める。 『新・観光立国論』（山本七平賞、不動産協会賞受賞）『新・所得倍増論』『新・ 生産性立国論』（いずれも東洋経済新報社）など著書多数。2016年に『財界』 「経営者賞」、2017年に「日英協会賞」受賞。	明日の日本を支える観光ビジョン構想会議委員（内閣官房） 国立公園連携プロジェクト有識者会議委員（環境省） 文化財の多言語解説等による国際発信力強化の方策に関する有識者会議委員（文化庁） 文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議委員（文化庁・観光庁） 「楽しい国 日本」の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議委員（観光庁） 2018年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 Executive Editor 世界水準のDMOのあり方に関する検討会委員（観光庁） 他
3	02_長岡市 西田 泰民		新潟県	〒940-2035 新潟県長岡市関原町1 丁目字権現堂2247番 2（新潟県立歴史博物 館） 0258-47-6130 nishida@pref.niigata .lg.jp	○	文化財	特に縄文文化	東京大学大学院博士課程中退	博物館研究員として縄文文化のほか、幕末維新期の外国語文献についても研究を 行っている。英文での論文、国際学会での発表も多数。	長岡市文化財保護審議会 委員 日本文化財科学会会誌 編集委員 新潟県立歴史博物館開館準備 新潟大学、長岡技術科学大学、長岡造形大学、新潟薬科大学、新潟県立看護大学において文化財学、 地域史、技術史、博物館学担当
4	02_長岡市 町田 久美子	8 TRIPS（旅行会社） 代表 全国通訳案内士	新潟県	080-4403-4811 info@8trips.jp	○	観光インバウンド	ガイド、旅行会社	駒澤大学文学部 英米文学科	旅行業歴18年（ツアー、旅客サービス）、海外赴任15年（マレーシア）の経験 により、きめ細やかな外国人目線による旅行手配、ガイドングが好評。	全国、特に新潟県や隣接県のインバウンド旅行の造成 東京都主催インバウンドボランティアガイド養成講座講師、観光庁主催インバウンド対応能力講座講師、新潟 県主催インバウンド・カレッジ メンター 新潟県の英語観光ウェブ「Enjoy Niigata」記事執筆 2023年G7新潟ファムトリップ通訳ガイド業務
5	02_長岡市 Ideue, Erik Shigeki	学校法人 帝京音楽学園 帝京長岡高等学校 英語 講師	新潟県	〒940-0044 新潟県長岡市住吉3-9- 1 0258-36-4800（帝京 長岡高等学校） kashiramoji.i@gmail .com	○	観光		ハワイ大学マノア校 ハワイ語専攻	長岡在住歴20年。長岡市の英字印刷物を多数校正・編集している。	長岡市の国際交流事業において市内学生の英語指導や、外国人来訪者の通訳として市内観光施設の案内 （紹介）を行っている。
8	03_十日町 アマダ・マープル	十日町市国際交流員	新潟県		○	十日町市の文化観 光に関すること	新潟県十日町市	アイオワ大学アジア言語学部日本語専攻 名古屋外国語大学日本語専攻（留学1年）	5年間、十日町市国際交流員として、英語による当地域の情報発信業務に携わる	・十日町市のホームページ、各種パンフレット等の英訳（主に文化観光分野） ・英語圏からの来賓、視察団等の案内や通訳 ・市民向け英語教室の開催
9	04_佐渡市 塚越 孝之	全国通訳案内士	新潟県	090-7427-3398 mijinti@lapis.plala.o r.jp	○	国際ビジネス 日本語教室 機械技術 通訳ガイド	佐渡島内の通訳案内	Xavier University 国際ビジネス MBA	2008年から全国通訳案内士として活動	佐渡島内の英文マップ編集制作

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。
注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

令和5年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 内容監修者一覧

■内容監修者

担当地域略称	推薦者名	現職	居住地	連絡先	日本語対応	専門分野	詳細分野（自由記載）	学歴	人物紹介	実績
12_04_佐渡市	池田 哲夫	新潟大学名誉教授	新潟県	0259-55-2447 sadohaku@city.sado.niigata.jp	○	文化人類学、民俗学		新潟大学大学院現代社会文化研究科博士課程単位取得退学 民俗学専攻 博士（文学）	学芸員、大学教授として地域に根ざした活動研究を実施	佐渡市文化財保護審議会委員 元新潟県文化財保護審議会委員 元文化庁文化審議会専門委員（文化財分科会） 十日町史文化財保存地域計画策定協議会委員
17_07_大原野	吉村 晋弥	観光ガイド「京都旅屋」代表 京都観光おもてなしコンシェルジュ	京都府京都市	075-432-7237 yoshimura@kyoto-tabiya.com	○	京都の歴史・文化の解説	京都市を中心に府内全般のガイド・講座を実施しています。	同志社大学文学部文化史学科日本文化史専攻	同志社大学在学中に「気象予報士」に合格 民間気象会社での勤務時に京都の魅力に強く引かれ、2011年4月、「京都旅屋」を起業。 主宰する京都講座や企業団体の講師をつとめる傍ら、出版部の刊行、テレビ・ラジオに京都の専門家として出演 ・2008年第5回「京都・観光文化検定試験（京都検定）」で最高峰の「1級」に回の最年少で合格（当時26歳） ・京都検定1級に2017年から6年連続の最高得点で合格 ・京都観光おもてなしコンシェルジュとして活躍中	「京都市認定通訳ガイド」の講師（京都の知識） 「京ごよみ手帳2022（宮帯出版社）」監修 京都に関するテレビ番組に出演 など
20_08_高砂市	濱中 賢憲	工業松右衛門旧宅 説明員	兵庫県	079-441-8076 heart-city@takasago-tavb.com	○	文化財、工業松右衛門研究	高砂市高砂町	神戸学院大学法学部 法律学科	工業松右衛門旧宅説明員として従事しながら、関連する地域の歴史やその背景を研究	高砂市指定文化時工業松右衛門旧宅説明員
21_09_十津川村	ブラッド・トウル	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー マネージャー 国際交流員 プロモーション担当	北海道		○	外国人旅行者の視点を重視した魅力の発信、外国人旅行者の受入体制の構築、保存・保全を軸とする、地域に根ざした観光地のための意識啓発	目的意識の高い外国人旅行者の誘客促進のため、また世界に開かれた質の高い持続可能な観光地を目指し、田辺市や熊野エリアの魅力発信と、受入地のレベルアップ、主に国内外の個人旅行者を対象とした着地型旅行業に取り組み、熊野の魅力を世界に知らせたいという強い思いで日々活動している。		目的意識の高い外国人旅行者の誘客促進のため、また世界に開かれた質の高い持続可能な観光地を目指し、田辺市や熊野エリアの魅力発信と、受入地のレベルアップ、主に国内外の個人旅行者を対象とした着地型旅行業に取り組み、熊野の魅力を世界に知らせたいという強い思いで日々活動している。	外国人旅行者の視点を重視した魅力の発信、外国人旅行者の受入体制の構築、保存・保全を軸とする地域に根ざした観光地のための意識啓発
22_09_十津川村	中川 眞	大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 特任教授	大阪府		○	地域研究、芸術実践論	コミュニティアート、アジアの音楽文化、サウンドアート、アーツマネジメント、サウンドスケープ、musicology	大阪芸術大学 芸術文化学博士	村落における民俗芸能（盆踊り）の持続的継承の研究活動として、長年十津川大踊りに携わっている。	十津川村の盆踊り解説集 中川眞、奈良県文化財保存課
23_09_十津川村	角田 華子	十津川村地域おこし協力隊 十津川村地域ガイド	奈良県 十津川村	hanako.kakuta@gmail.com	○	外国人旅行者への観光ガイド、十津川村郷土史研究	奈良県十津川村、紀伊半島	横浜市立大学 生命ナノシステム科学研究科 博士後期課程 単位取得満期退学	2017年から横浜を拠点にインバウンド旅行者向けガイドとして活動。2019年に奈良県十津川村に移住後、ガイド活動以外にも、村史や、地域の研究文献等も集めており、奈良県立大学の先生方とも意見交換を行う。ガイド総数220件、うち十津川村ガイド50件	日本語/英語で、地域の暮らしに密着した観光ガイドとして活動。
28_11_山口市	古谷 眞之助	・やまぐち萩往還語り部の会エグゼクティブガイド ・やまぐち萩往還語り部の会業務委員（インバウンド担当主任） ・地域通訳案内士（英語）	山口県	083-923-2364 090-7124-0032 shin-cas@casable.ne.jp	○	歴史ガイド	・萩往還 ・大内文化	山口大学 経済学部経済学科	・萩往還と大内文化のガイドでは、地域通訳案内士（英語）としても活動	・著作「夫婦で歩く萩往還」（萩往還踏破記）
29_12_福岡市	ブルース・L・パートン	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター所長			○	日本史	日本前近代史、古代大宰府	スタンフォード大学 大学院 人文科学研究科 歴史	日本の前近代や世界史における「境界」「周縁」に関する研究をはじめ、環境史についても研究を進めている。大宰府をはじめとする福岡県の歴史にも造詣が深い。	大宰府に関する研究著書の刊行 『国境の誕生 大宰府から見た日本の原型』2001年 『日本の「協会」 前近代の国家・民族・文化』2000年
30_13_山鹿市	山口 健剛	山鹿市教育委員会文化課文化企画係長（学芸員）	熊本県	0968-43-1651	○	文化財、考古学	特に熊本県北部		学芸員として、山鹿市の文化財保護行政を担当	山鹿市内指定文化財の保存、管理 方保田東原遺跡等発掘調査

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これらから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。
注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

令和5年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 内容監修者一覧

■内容監修者

担当地域略称	推薦者名	現職	居住地	連絡先	日本語対応	専門分野	詳細分野（自由記載）	学歴	人物紹介	実績
32 14_菊池市	小堀 久男	菊池市立図書館 図書館支援専門員	熊本県	080-1719-8608 his.cobo@gmail.com	○	図書館多文化サービス、英語教育（入門期の音声文字指導） 日本語教育		熊本大学教育学部中学校教員養成課程（英語科）	図書館での外国人支援、「えいごのおはなし会」の運営、外国人対応、通訳等を行う。	・菊池市立図書館で「多文化サービス」担当者として3年間活動
33 14_菊池市	関原マックス トレバー	大工	熊本県	070-8313-7656 max.tte@gmail.com	○	現代芸術、哲学		マッセー大学	ニュージーランド出身。英会話講師として2年間勤務。現在作家としても活動し、この10年間で6冊の本を執筆。 最近では社会、コミュニティ、環境問題のための活動を積極的に行っている。	・「日本とニュージーランドの文化芸術相互展覧会」を企画・運営・実施（5月熊本市内での展覧会後、現在（6月）はオークランド市内で展覧会実施中）
36 15_阿蘇市	Jason D. Morgan (ジェイソン モーガン)	株式会社アドアストラ 代表取締役 株式会社Shirakawa Banks 代表取締役	熊本県	080-1734-1643 jason@adastra.co.jp	○	翻訳、観光、まちづくり	特に熊本県、阿蘇地方、人吉球磨地方	College of New Jersey 生物学専攻、英語副専攻 熊本学園大学大学院 国際文化研究科 修士	17年間熊本に滞在。2014年に翻訳・通訳の会社を立ち上げ、近年観光関係（パンフ、ウェブサイト制作・翻訳、ツアーなど）を中心に活動。熊本市内と阿蘇地方が特に多い。	熊本県、阿蘇地方、人吉球磨地方や九州内の事業の内容監修、翻訳、デザインなど 白川夜市等のイベント運営 熊本県観光振興推進協議会委員 NPO法人 白川流域リバーネットワーク 理事 白川左岸緑地「緑の区間」愛護会長
50 22_屋久島町	アンドリュー・ソル	屋久島町教育委員会 ESDグローバルアドバイザー	鹿児島県		○	サステイナビリティ、人間生態学、文化人類学	環境文化教育、グローバルイノベーション、屋久島	ルンド大学大学院人文地理研究科人間生態学修士課程（スウェーデン） ネバダ大学リベラル・アーツ学部人類学文化人類学専攻（アメリカ）	ESD（持続可能な開発のための教育）グローバルアドバイザーとして、 ※本町の小・中学校のESDカリキュラムの作成と改善 ※本町の学校とコミュニティで、SDGsや国際化や人権などを促進する活動を実施	※屋久島町ESDカリキュラムの作成・改善（進行中） ※屋久島町グローバルアートプロジェクト（美術を応用したサステイナビリティ研究） ※屋久島町で毎年10週間のESD English講座を実施 ※奈良教育大学によってESDティーチャー認定
56 26_常滑市	田村 史彦	一般社団法人とこなめ観光協会 事務局長	愛知県		○	観光	特に知多半島		高校卒業後単身アメリカへ留学し卒業。帰国後大学へ編入し哲学専攻。知多半島エリアの地域情報誌を発行する会社経営。出版を通して地域を学び、国際空港のある常滑市にて観光協会の事務局長に就任。	知多半島の情報誌を出版（取材・編集・執筆） とこなめ観光協会の事務局長として組織運営
59 28_由良町	高橋 正信	一般社団法人紀州の環境事務局長 合同会社シビラ代表社員	大阪府	072-462-4164 m_takahashi@civicpride.cloud	○	一般社団法人紀州の環境事務局長 合同会社シビラ代表社員			旅行会社勤務の経験を活かし、地域のインバウンド誘致、消費拡大事業、DMO運営支援に携わる	インバウンド受入環境整備 インバウンド向け体験プログラムの構築、販売
62 30_大村市	Jeremy D. PHILLIPPS (フィリップス・ジェレミー)	金沢大学国際基幹教育院特任助教 金沢大学資料館研究員 フリー翻訳者	石川県	jdphillips@staff.kanazawa-u.ac.jp	○	観光	日本史 近代史	東京外国語大学附属日本語学校 国費留学生として入学 金沢大学文学部 卒業 金沢大学文学研究科 修了 金沢大学社会環境科学研究科 学位取得後修了 金沢大学文学部日本学術振興会外国人特別研究員	1991年に国費留学生として来日、1992年より金沢在住（金沢大学在学）。2016年より現在に至るまで金沢大学国際基幹教育院特任助教。日本史・日本文化の講義を担当。また、英語論文作成法に関する講義（金沢医科大学）や、日本の都市史に関するセミナーでの講師等の実績をもつ。専門は近代日本史、近代都市史、都市史、地方主義と帝国主義。（1991年来日）	『都市と帝国～1930年代日本における地方アイデンティティと地方的帝国主義』『帝国主義的発展論』の言説と表現化～1932年の「金沢市主催産業と観光の大博覧会」にみられる対外意識と地方開発』『「日本海時代」～1930年代における帝国主義と地方アイデンティティに関して』『「軍国の春」と金沢大博覧会にみえる地方型帝国主義～「日本海時代」と対外意識の表現化』『対日空襲における中小都市の目標設定に関する研究～金沢はなぜ空襲を免れたのか？』